

令和 7 年度 大学塾 第 3 ステージ 開催案内

区民が学ぶ・教える・創る

令和 7 年度 あだち区民大学塾

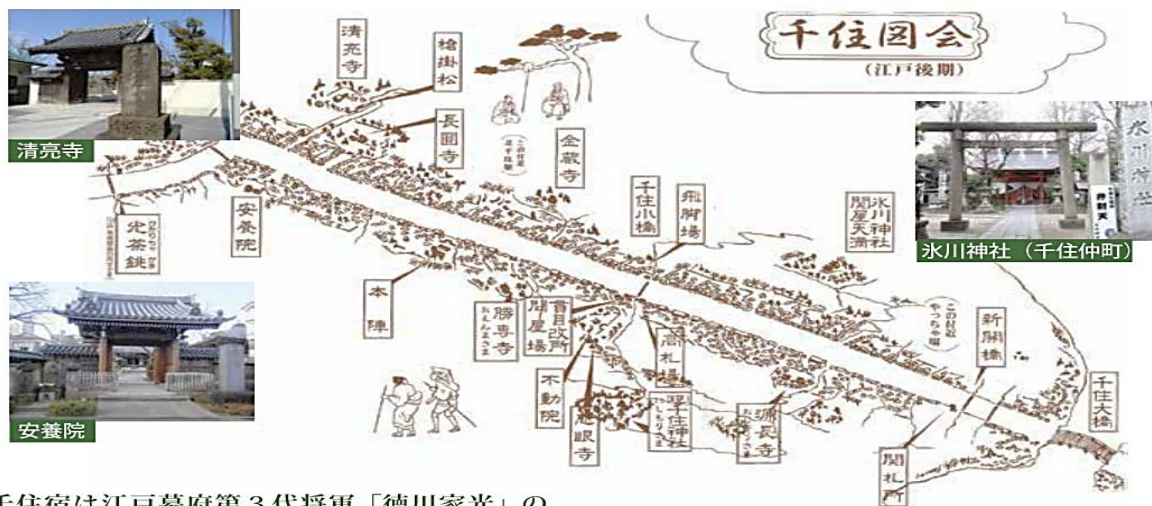
募集要項



千住宿開宿 400 年講座

「千住宿 400 年の人と歴史Ⅱ」

※講座内容は今年 5 月に開催したものと同じです。



千住宿は江戸幕府第 3 代将軍「徳川家光」の時代である寛永 2 年（1625 年）に整備された宿場町です。江戸から延びる幕府直轄の主要な「五街道」の 2 つの街道（日光道中、奥州道中）が通り、「江戸四宿」の中でも最大の人口があり、大いに栄えました。

千住宿 400 年の歴史を振り返りながら、そこに育った文化や医学の発展を学び、市民目線であだちの文化課題を考えてみましょう。

講師 矢内 信悟 氏 「安藤昌益と千住宿の関係を調べる会」事務局長
あだち区民大学塾 講師

開催日時 令和 7 年 10 月 毎回 木曜日 午後 2 時～4 時

回	月 日	講 義 内 容
1	10 月 9 日	千住宿の成立と発展
2	10 月 16 日	千住宿の文化と医学のお話 ～安藤昌益・佐藤元長・森嶋外～
3	10 月 23 日	千住の文化人たち ～松尾芭蕉・平賀源内・内田銀蔵～
4	10 月 30 日	現地学習「千住宿を歩く」

社会教育実践研究センター ～ 設立 60 周年を迎えて～

社会教育 2025 年 7 月号では、特別企画 ～設立 60 周年を迎えて～ を特集しています。

当会顧問、アクティブ・シティズンシップ研究所(ALEC)代表、昭和女子大学特任教授 興梠 寛氏からの応援メッセージ、「上野の森に「実践知」のコモンズを創造しよう」が掲載されています。

上野の森にたたずむ「社会教育実践研究センター」は、博物館・美術館をはじめ文化ホール、さらには芸術文化を創出する学問の府などに囲まれています。センターは、まるで多様な「知」が交錯する。「プリコラージュ広場」のようです・・・(中略)

その社会教育の「聖地」ともいべき上野の森では、60 年の歳月をかけて全国から多士済々の人びとが集い、教育への溢れる夢と「経験知」を交えつつ「多事創論」の広場が築かれてきました。これからの 60 年に向かって、どのような「実践知のコモンズ」の世界を創造していくのでしょうか・・・(以下文省略) *社会教育誌は、WR で閲覧できます。



NHK 文化関連講演会「深宇宙展」開催報告

特別展 深宇宙展 -人類はどこへ向かうのか- ～監修者とめぐる見どころと宇宙開発の未来像～



日本科学未来館で7月12日から9月28日まで開催されている、特別展 NHK 関連文化講演会『深宇宙展～人類はどこへ向かうのか』に合わせた NHK 文化関連講演会が、8月11日足立区生涯学習センターで行われた。応募者は、196名、受講者は、153名でした。

講師は宇宙開発エバンジェリストの戸梶歩氏です。

日米の航空宇宙関連の企業を経て、JAXA では、火星衛星探査機プロジェクトに従事。これまでに4機の人工衛星の設計・開発に携わるなど、30年以上の業界経験をもち近年はSF 科学技術・考証・監修にも

携わり科学技術と役者としても作品づくりに関わり、科学技術とエンターテインメントの架け橋として活躍している。深宇宙展では、月・火星そして深宇宙へと最新の宇宙探査機を紹介しているという。

【深宇宙展の見どころ】

Ⅰ. この展覧会のキーワードは、実物である。

- ① 月の有人圧ローバー用タイヤ、② 月面誘電率計測器、③ H3 ロケットのフェアリング（摩擦熱から守るカバー）、④ 「はやぶさ」・「はやぶさ2」による「小惑星イトカワ、リュウグウの（粒子）の実物、⑤ 宇宙ステーション滞在を果たした前澤友作さんが搭乗したソユーズ宇宙船（帰還モジュール）の実機。



Ⅱ. 宇宙開発未来像

- ① 果てしない宇宙の謎に挑む天文学最前線。

第2の地球は存在するのか？ ブラックホールの正体？

謎の物質ダークマターなど、天文学が挑む謎に迫ります。

「すばる望遠鏡」などの巨大観測機器が捉えた観測データによって驚くべき深宇宙の姿が明らかに成ってきています。その成果を観測機器の模型と大画面映像で見ることが出来ます。

- ② 民間資本によるロケット開発。

低コスト・高頻度打ち上げの可能を目指すなど紹介された。

- ② 地図アプリ (GPS) の精度向上のため地球低軌道 (LEO) の紹介。

- ④ 宇宙旅行が現実のものに。地球低軌道宇宙旅行。

- ⑤ 月での活動の活発化 アルテミスⅡ、アルテミスⅢ 計画紹介。

- ⑥ 火星：月の次は火星からのサンプル回収 (NASA と ESA の共同ミッション)。



Ⅲ. 未来の可能性は無限大

100年後、200年後の宇宙開発の未来像は今とさらにその後を生きる人たちが決めることになる！…と戸梶歩氏は、講演会最後の言葉とした。

Ⅳ. 所感

NHK主催の特別展覧会で監修者として「深宇宙展」を企画した戸梶歩氏は、その魅力や見どころを、熱く、力強く語ってくれました。この「深宇宙展」へ行ってみよう！…そう思いました。

(渡辺秀子)



令和7年9月 運営委員会 報告・連絡

日 時 : 令和7年9月1日(月) 14:40~15:45

場 所 : 生涯学習センター: 5階 研修室 4

代表挨拶

皆さまご苦勞様です。暑い日が続きますが、体調を崩さないよう、ご自愛ください。

6月は「中世古文書講座」が、3回に亘って開催されましたが、難しいタイトルにも関わらず、公家の有力者に対して(申文)で昇進を狙う書状や、土地の権利を巡って起こされた訴状などが紹介され受講生からは、解説が分かりやすく面白い、資料も説明も大変素晴らしかったとの好評価を受け受講者と共に楽しく学ぶ事ができました。

7月3日からは「古代の足立」が座学と現地学習の2回講座として始まります。特に2回目の現地での散策では特に暑さ対策に気を配っていきたいと思います。スタッフの皆さん、よろしくお願いいたします。

議 事

- (1) 情報交換 なし
- (2) 月例会開催について
 - ・8月 休会
 - ・9月 17日(水) あだちサークルフェア 2025 出展内容検討
 - ・10月 15日(水) 次回10/1の運営委員会で相談する
- (3) あだち区民大学塾: 講座企画会議: 9/1(月)、10/1(水)、検討会議: 9/17(水)、10/15(水)
 - ・8月 講座なし
 - ・9月 生誕100年 三島由紀夫の生涯と文学散歩 受講応募者 26名
9月6・13・20・27(土) 研1
 - ・10月 千住宿400年講座: 前回抽選落選者へ案内ハガキを54枚 8/21送付済、応募締切日9/25
10月9・16・23・30(木) 研1、現地学習
あだち朝日へ掲載予定(9/5号)
受講応募状況を見て判断: 三島由紀夫講座でチラシ配布検討
 - ・12月「幕末の真実を探る!」講座決定した。講師 穂高健一氏、
12/2・9・23(火) 研1
- * 令和8年度大学塾講座の検討を9月より開始する。まずは令和8年度前期5講座程度検討する。
次回講座検討会議9/17(水)で検討。糸井さんにも参画いただき検討する
候補案: 日本経済: 柴田氏、絵画(西洋絵画 or 近代日本画); 島田氏、宮沢賢治; 赤田氏、
歴史; 幕末/明治; 三村氏、中世: 平野氏、大関氏、古文書; 高梨氏、文学; 倉本氏
- (4) センターより NHK 関連文化講演会の運営ボランティア活動報告 ボラ活部: 渡辺
特別展「深宇宙展~人類はどこへむかうのか」
8/11(祝・月) 2時~3時30分 講堂 受講者153名 スタッフ8名
- (5) 各部局からの報告および提案
 - ①学習支援部: チラシ封入作業なし
 - ②ボランティア活動推進部:
 - ・あだちサークルフェア2025; 10月11.12日開催 募集締切日 4/30: 参加申込済
ホワイエの場所決定、白板6枚確保、チラシ配布役割はホワイエで配布する
チラシの広告申込済。次回実行委員会9/6(土)は鈴木さん、渡辺さんが出席する
 - ・NPO フェス(11/15、16)については不参加とする。来場者が当会の狙いと合わない
→ボラ活部よりNPO フェス事務局へ不参加連絡済。
 - ③事務局: ニュース発送 今月休刊、事務局部会9/10(水)8月決算、
 - ④広報グループ: 楽学ニュース 休刊、ホームページ 休刊、(継続掲載) メルマガ 休刊、
- (6) 会員募集
 - ・メルマガ 9月1日号以降 会員急募を掲載中、ホームページに「入会のお誘い」掲載中
 - ・あだちサークルフェアで勧誘、NPOフェスティバルで勧誘した→ サークルフェアで2名入会頂いた
 - ・大学塾講座で会員募集案内を実施中
 - ・サークルフェア2025のプログラムに会員募集の告知を行う
- (7) その他
 - ・社会教育 9月号 回覧

次回運営委員会 10月1日(金) 15:00 ~ (研4)

生涯学習センター 講座情報

◎講座名：加齢による認知機能の低下が社会 経済に及ぼす影響とその解決策

あだち 100 年大学講座

日 時：11/1 (土) 午後 1 時 30 分～3 時

定 員：40 人 (対面)、10 人 (オンライン)

受講料：800 円

会 場：足立区生涯学習センター研修室 1 (対面)

講 師：駒村 康平 氏

慶応義塾大学経済学部教授、ファイナン
シャルジェロントロジー研究センター長

内 容：長寿や加齢による認知機能の低下による
暮らしや経済活動への影響を学びながら、その解
決策として期待される金融と福祉が連携した重層
的な社会経済システムについて解説をします。

◎講座名：世界が注目、富嶽三十六景に見る 北斎のデザイン

あだち 100 年大学講座

日 時：11/22 (土)・29 (土) 午後 2 時～3 時半

定 員：50 人

受講料：1,600 円

会 場：足立区生涯学習センター 研修室 1

講 師：戸田 吉彦 氏

第 1 回国際北斎学会 In Tokyo 事務局長

内 容：今日北斎に匹敵する人気を海外からも
集める日本の画家はいません。庶民に混じり大衆
のために描き続けた北斎の今日を、誰が想像した
でしょう。時代が下るほど北斎の絵の現代性が現
れていると考えざるを得ません。北斎が単に過去
の絵師でなく、視覚芸術の不変の法則を作品に反
映していたのであれば、現代デザインからの解説
は多くの興味と関心を引くと確信します。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット[近所 de まなびナビ]で検索
イベント・講座情報→講座予約システム



百日紅「ピンク・紅色で長い間 咲く」

令和 7 年 月例会のご案内

・10 月月例会：10 月 18 日(土)午後 1 時より

内 容：「会員の学習会」東京国立博物館
集合場所：JR 上野駅 公園口 改札前

(ボランティア活動推進部)

楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
10 月 1 日(水) 午後 3 時～4 時 研修室 4
- ◎ 月例会 (現地学習)
10 月 18 日(土) 午後 1 時～ 会員研修会
- ◎ 学習支援部
10 月 15 日(水) 午後 1 時半～2 時 研修室 4
- ◎ 事務局
10 月 8 日(水) 午後 1 時半～ ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
10 月 15 日(水) 午後 2 時～3 時 研修室 4
- ◎ 大学塾講座企画会議
10 月 1 日(水) 午後 2 時～3 時 研修室 4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
10 月 20 日(月)

★お問い合わせ & ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444
E-Mail : tefukuda2002@yahoo.co.jp



編集後記

脱炭素化社会に向けて 世界は脱炭素を目指している！

「地球温暖化」や「SDGs」など、地球環境に関する言葉が注目されています。その中で、「脱炭素」という言葉を知る人も多いと思いますが、改めて、学び直しを致します。脱炭素とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質 0 にすることです。脱炭素を実現した社会を「脱炭素社会」といい、日本政府は 2050 年までに脱炭素社会を目指すと言っています。

「温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」とは、「温室効果ガスを全く排出しないようにする」という意味ではありません。経済活動や日常生活の中で温室効果ガスを全く排出しないのは、現時点では不可能です。

脱炭素の取り組みでは、温室効果ガスの排出量から植物によって吸収される量を差し引いて「実質ゼロ」を目指します。そのため、脱炭素を実現するには温室効果ガスの排出量を減らすだけでなく植林や森林管理で温室効果ガスの吸収量を増やすための取り組みが必要です。

これは日本に限った話ではなく、120 以上の国々と地域が 2050 年までに脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めています。世界的に脱炭素を目指しているのは、次の 2 つが主な理由です。①地球温暖化による気候変動を食い止めるため②化学燃料(化石燃料)の資源がなくなるためです。脱炭素の目的のひとつは、地球温暖化の原因と考えられている温室効果ガスの削減です。これまで世界は化学燃料を燃やして発展してきました。化学燃料を燃やすと、二酸化炭素が発生します。その結果、世の中が便利になっていく一方で、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスによる地球温暖化が進んできました。地球温暖化が進むと異常気象や自然災害の頻度が増える可能性があるため、温室効果ガスの排出量を減らして地球温暖化を食い止めなければなりません。

(次号では、地球温暖化によって引き起こされる可能性のある事象について) 続く。 (金子 勝治)